

むこうじま “白砂青松” BBQ 大会



※本事業は高砂市のトライアル・サウンディング認定事業として、実施した。

開催日 令和2年12月5日（土）
開催地 高砂市 向島公園 芝生広場
主催者 公益財団法人高砂市施設利用振興財団



●トライアル・サウンディングとは・・・
民間事業者の皆様に官民連携の検討対象となる公共施設を暫定的に利用していただくことにより、民間事業者が自主的に提案する事業を試験的に実施する機会を提供するものです。



ナンキンハゼ

この公園の市ノ池周辺にはナンキンハゼという樹木がたくさん植栽されている。初夏に栗の花のようではあるが、あまり目立たない長い穂状の花が樹木全体に開花する。開花しているときに樹木の下で上を眺めるとミツバチが訪花しているので、「ブンブンと羽音が聞こえる」というぐらい音が聞こえ五月蠅いぐらいだ。ナンキンハゼの学名は *Triadica sebifera* でトウダイグサ科シラキ属の落葉高木である。名前の由来は中国原産の木で蟻をとっていたハゼノキからきている。開花後に果実が実るが緑色をしているのでそれもまた目立たない。

種子は紅葉が始まると緑のくすんだ色から茶色になり、果皮が割れ中から白い蝶質状の果実が現れる。紅葉期から落葉後まで長く樹上にとどまり鳥類の餌になっているので、池の周辺で実生苗を見ることができる。

リース作りには欠かせない存在になりつつあるこの実を使って、リース全体を果実で覆い尽くし、ツルが隠れてしまうほど真っ白いリースを作ったら、それもまたシンプルで綺麗なリースになる。

原産は中国、台湾ですが、綺麗な紅葉を見せるので、庭木や街路樹、公園樹として使われている。

ナンキンハゼの紅葉は思いの外美しく、赤さだけを追求しなければニシキギやモミジにも負けないような秋の風情を楽しませてくれる樹木である。

また、次回お目に掛かりましょう。

花の教室講師 高田 正

